

2024年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2024年度前期				2023年度前期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	62	62	172	170	65	65	182	175
非常勤	48	47	77	75	48	48	81	81
総合計	110	109	249	245	113	113	263	256

※看護学部実習科目については、別アンケートを実施しています

【属性】

アンケートに答えた学生（延べ回答者数）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	685名	11.2%
	公共政策学科	475名	7.8%
経営学部	スポーツ経営学科	2739名	44.8%
	経営情報学科	1171名	19.2%
看護学部		1036名	17.0%
計		6106名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1年次	2500名	41.0%
2年次	1653名	27.0%
3年次	1441名	23.6%
4年次	450名	7.4%
5年以上	62名	1.0%
計	6106名	100.0%

学部学科別人数・回答率			
学 科	受講人数	回答人数	回答率
経済学科	1323名	685名	51.8%
公共政策学科	1180名	475名	40.3%
スポーツ経営学科	4590名	2739名	59.7%
経営情報学科	2493名	1171名	47.0%
看護学部	2307名	1036名	44.9%
計	11893名	6106名	51.3%

$$\text{延べ回答者数} / \text{延べ受講者数} = \text{回答率}$$

$$6,106 / 11,893 = 51.3\% \quad (\text{2023年度前期: } 50.6\%)$$

【授業アンケートの実施率と回答率】

○教員数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施教員数／アンケート対象教員数）は、今年度は99.1%（＝109/110）となった。なお、昨年度前期100.0%（＝113/113）、前回（昨年度後期98.3%（＝116/118））である。専任、非常勤教員問わず、授業アンケートの依頼に協力していただいたことが分かる。

○講義数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）

は 98.4% (=245/249) で、昨年度前期 97.3% (=256/263)、前回 (昨年度後期) 96.4% (=268/278) より上昇した。うち、専任教員の講義は 98.8% (=170/172)、非常勤の講義は 97.4% (=75/77) である。**教員からの授業アンケートの依頼が講義内で概ね周知されていた**と言える。なお、専任教員数でみた授業アンケート実施率よりも専任教員講義数でみた授業アンケート実施率が低下するのは、少なくない少人数講義の存在に起因する。

○学生の回答率 (=延べ回答者数/延べ受講者数) は 51.3% (=6,106/11,893) であり、昨年度前期 50.6% (=6,311/12,480)、前回 (昨年度後期) 42.8% (=5,938/13,881) より上昇した。遠隔授業を実施している中でのアンケート実施と対面授業を実施している中でのアンケート実施では、2021 年度後期の回収率が特に低かったことを除けば、その回収率に大きな増減はなく、**アンケート実施期間の授業形態が回収率に影響することはない**と考える。

○オンラインで授業アンケートを実施するようになって回答率が 50%を超えたことは、これまで取り組んだ改善の結果として大きい。アンケート収集方法がオンラインになってからも一定水準の回答率を維持し、かつ、コロナ禍であっても (2021 年度後期を除く) 上昇傾向にあったのは、前述の教員による協力もさることながら、**教務課が学生ポータルを通じて、何度もアンケート依頼を行っている**ことである。今後も、回答率を上げるノウハウを共有して、学生ポータル等を通じたアンケート依頼を継続してほしい。

○学生の回答率がそれでも 51.3%に留まることは課題である。さらなる改善が求められ、教授会やメール等での教員への協力依頼、学生ポータル等を通じた効果的なアンケート依頼の継続が必要である。そのため、今後も回収状況の分析を行うことが肝要である。

○アンケートのオンライン実施は継続する。ペーパーレス化、学生のデジタル化への対応や、匿名性を保持しつつ回答者を GPA や入学時入試種別と紐づけることで、「成績上位者は〇〇に不満を持っている」といった分析などが可能となる。**本学での IR 活動の本格化が期待されるが、授業アンケート結果はそのローデータとして意義がある。**

授業アンケートの設問 1. ～9. (「授業評価アンケート設問 2024」参照) の回答状況については「2023 前期授業アンケート全体集計」を参照されたい。以下、一部に前回 (昨年度前期) との比較を示して補足する。

設問 1. 【板書・パワーポイント・資料は分かりやすいか (読みやすいか)】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 75.8%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 10.1%を上回っている。前回アンケートの結果 (「分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 72.5%、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.5%) と比較すると、肯定的評価は微増、否定的評価は微減である。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 80.6%、公共政策学科 81.3%、スポーツ経営学科 73.7%、経営情報学科 73.2%、看護学科 78.5%で、否定的回答は、経済学科 10.8%、公共政策学科 9.3%、スポーツ経営学科 11.0%、経営情報学科 9.3%、看護学科 8.8%である。

設問2.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 77.7%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 10.0%を上回っている。前回のアンケートの結果（「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 74.7%、「分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.3%）と比較すると、肯定的評価が微減となった。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 81.1%、公共政策学科 80.7%、スポーツ経営学科 77.2%、経営情報学科 75.9%、看護学科 77.5%で、否定的回答は、経済学科 9.9%、公共政策学科 9.9%、スポーツ経営学科 10.2%、経営情報学科 9.0%、看護学科 10.9%である。

設問3.【授業に集中するための環境（私語、遅刻、途中退室が無い状況等）は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合は 81.7%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合 5.0%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合は 80.5%、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合 5.4%）と比較すると、一部改善されたが、まだ改善の余地はある。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 86.6%、公共政策学科 85.2%、スポーツ経営学科 81.4%、経営情報学科 78.9%、看護学科 81.2%で、否定的回答は、経済学科 5.3%、公共政策学科 3.1%、スポーツ経営学科 5.1%、経営情報学科 4.3%、看護学科 6.0%である。

設問4.【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

○学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は 6.6%であり、前回アンケートの結果 7.7%より改善された。複数回答可の選択においては、「前回（過去）の振り返り」（37.0%）や「小テストや課題」（31.2%）による理解確認の方法が多かった。

設問5.【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合は 84.9%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合 3.0%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合は 82.3%、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合 3.8%）と比較すると、肯定的評価が減少となった。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 86.6%、公共政策学科 86.9%、スポーツ経営学科 83.6%、経営情報学科 81.4%、看護学科 90.0%で、否定的回答は、経済学科 2.4%、公共政策学科 2.9%、スポーツ経営学科 3.9%、経営情報学科 2.6%、看護学科 1.5%である。特に看護学科で授業への意欲的参加が突出している。

設問6.【授業はどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合は 81.5%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合 5.0%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合は 77.6%、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合 5.9%）と比較すると、肯定的評価は微増、否定的評価は微減となっている。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 83.4%、公共政策学科 81.7%、スポーツ経営学科 81.3%、経営情報学科 78.7%、看護学科 83.6%で、否定的回答は、経済学科 4.5%、公共政策学科 4.0%、スポーツ経営学科 5.5%、経営情報学科 4.0%、看護学科 5.5%である。

設問7.【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合は 79.5%であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合 4.3%を上回っている。前回アンケートの結果（「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合は 76.3%、「非常に不満」「やや不満」と回答した割合 5.4%）と比較すると、満足度はやや下がった。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 82.5%、公共政策学科 83.2%、スポーツ経営学科 78.1%、経営情報学科 76.7%、看護学科 82.7%で、否定的回答は、経済学科 3.8%、公共政策学科 2.3%、スポーツ経営学科 5.1%、経営情報学科 4.1%、看護学科 3.6%である。

設問8.【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1時間以上」「30分～1時間程度」「30分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 60.6%であり、「ほとんどしない」と回答した割合は 39.4%であった。前回アンケートの結果（「1時間以上」「30分～1時間程度」「30分未満」と回答した割合の合計は 62.8%、「ほとんどしない」と回答した割合は 37.2%）と比較すると、予習・復習を「ほとんどしない」割合が 1/3 を超えたことは由々しき事態である。

○「ほとんどしない」と回答した学科間割合は、経済学科 (29.3%)、公共政策学科 (40.2%)、スポーツ経営学科 (51.4%)、経営情報学科 (32.2%)、看護学科 (22.1%) である。ほとんど予習・復習を行っていない割合が多い学科は、学科会議等で早急に対応されたい。

設問9.【この授業で興味・関心を持てるようになったか】

○「大いに持てる」「持てる」と回答した割合は 76.7%であり、「全く持てない」「あまり持てない」と回答した割合 5.2%を上回っている。前回アンケートの結果（「大いに持てる」「持てる」と回答した割合は 73.0%であり、「全く持てない」「あまり持てない」と回答した割合 6.8%）と比較すると、改善された。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 78.0%、公共政策学科 77.7%、スポーツ経営学科 75.4%、経営情報学科 74.9%、看護学科 80.9%で、否定的回答は、経済学科 4.1%、公共政策学科 5.3%、スポーツ経営学科 6.3%、経営情報学科 4.2%、看護学科 4.0%である。特に看護学科で授業への興味・関心度が突出している。関心度が低かった学科は、授業内容やカリキュラム改正に向けて、今から議論を深めていただきたい。

以上